

平成27年度 「大阪市統一テスト」における 阪南中学校の結果の分析について

大阪市による「大阪市統一テスト」について、平成27年10月15日（木）に、第3学年を対象として実施しました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校がテスト結果やテスト結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、テスト結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

1 テストの目的

- ① テスト結果を個々の生徒の評定（内申点）に活用し、平成28年度入学者大阪府公立高等学校入学者選抜における調査書に記載する評定の公平性、信頼性を確保する。
- ② 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。

2 テストの対象

- ・ 原則として、大阪市立中学校及び特別支援学校中学部の第3学年

3 テストの内容

- ・ 国語、社会、数学、理科及び英語の5教科

平成27年度「大阪市統一テスト」検証シート

学校名	大阪市立阪南中学校
生徒数(人)	286

平均正答率（点）

	国語	社会	数学	理科	英語
学校	74.1	69.4	75.0	68.8	75.1
大阪市	64.7	57.4	59.3	55.6	59.8

結果の概要

○平均正答率は、大阪市の平均正答率より、国語で9.4P、社会で12.0P、数学で15.7P、理科で13.2P、英語で15.3P上回っている。特に、数学と英語において大きく上回っている。

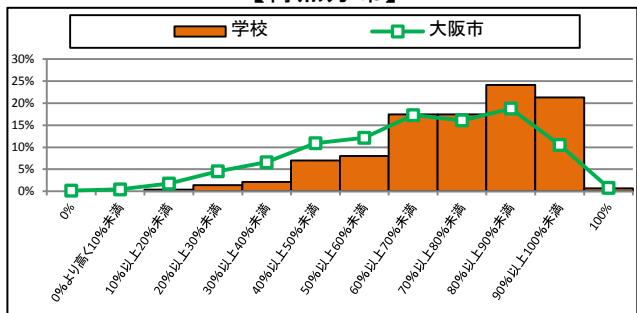
成果と今後取り組むべき課題

○規律ある学校生活が維持され、着実な教育活動が推進されていることが結果に現われている。今後、引き続き、生徒が集団でのルールやマナーを守り、落ち着いた状況で学習に取り組めるよう継続して取り組みを進めていく。
○生徒がより興味・関心を持てるように、ICT機器等を活用した授業やアクティブラーニングを取り入れた授業に積極的に取り組んでいく。
○個々に応じた指導の充実を図るとともに、個々の教員の授業力のさらなる向上を図っていく。

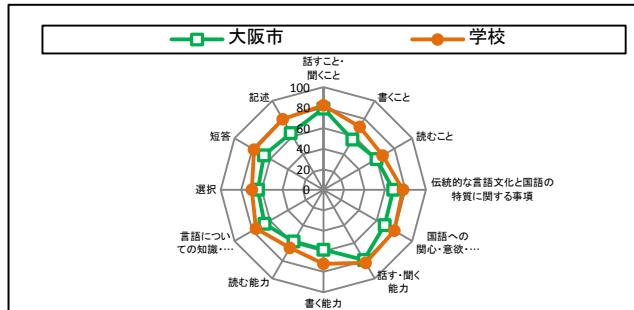
【各教科の得点分布と領域・観点・問題形式別平均得点の分布】

【国語】

【得点分布】

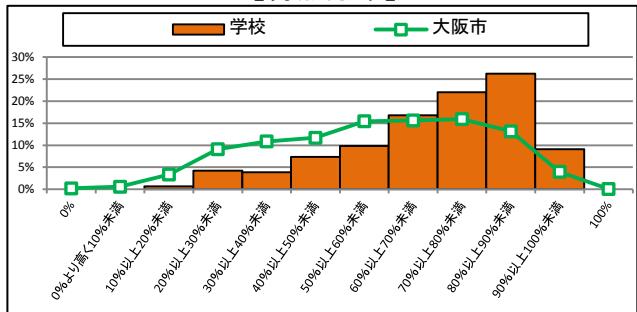


【領域・観点・問題別の分布】



【社会】

【得点分布】

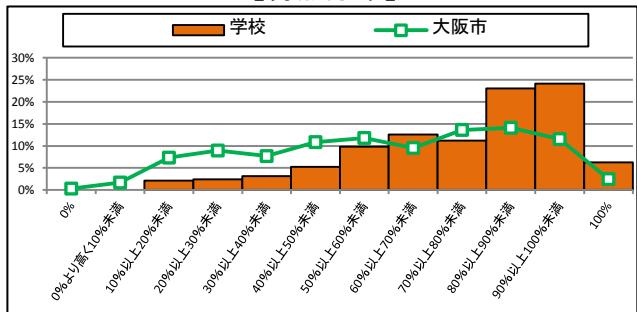


【領域・観点・問題別の分布】

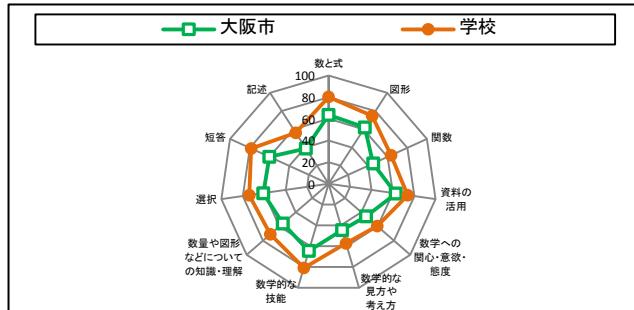


【数学】

【得点分布】

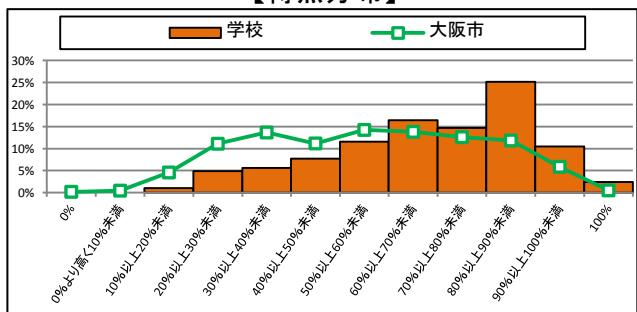


【領域・観点・問題別の分布】

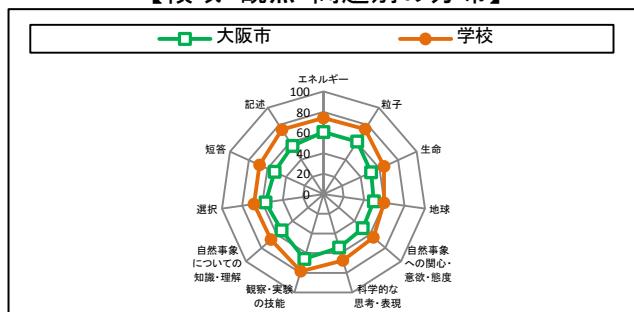


【理科】

【得点分布】

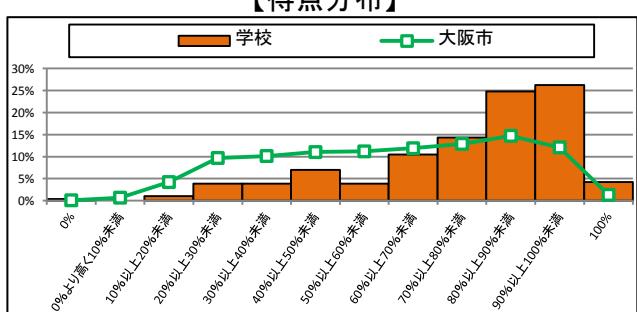


【領域・観点・問題別の分布】



【英語】

【得点分布】



【領域・観点・問題別の分布】

